

令和5年度 第4回勝浦市地域公共交通活性化協議会 会議録

1. 日 時 令和6年3月27日（水） 午後2時から

2. 開催場所 勝浦市芸術文化交流センター 大会議室

3. 出席者

【委員・オブザーバー】別紙座席表のとおり

【事務局】勝浦市企画課長（青山） 政策推進係長（渡邊）

4. 会議次第

1. 開 会

2. 議 題

（1）路線バス「勝浦・御宿線」及び「ミレーニア線」の再編について

（2）デマンドタクシーの運行拡充について

（3）令和6年度協議会事業計画（案）及び予算（案）について

（4）協議会委員の追加について

3. その他

・運賃協議会について

4. 閉 会

5. 概 要

（事務局・青山）

定刻となりましたので、ただ今より、令和5年度第4回勝浦市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。

勝浦市企画課の青山と申します。本日はどうぞ宜しくお願いいたします。

始めに、資料の確認をさせていただきます。「会議次第書」「委員名簿」「座席表」等が一体となったものと、別冊「デマンドタクシーの運行拡充について」とタイトルされた資料、以上2点となります。いずれも本日提供させていただいたものですが、お手元にございますでしょうか。

次に、本日、出席いただきました委員の皆様の紹介でございますが、座席表に記載のとおりでございますので、これにてご了解いただきますようお願い申し上げます。

千葉県総合企画部交通計画課の山下様、勝浦警察署交通課長の石井様が急用により欠席するとのことご連絡ありましたのでお知らせします。

なお、本日、エミタスタクシー南総(株)の親会社に当たります三ツ矢エミタスタクシーホールディングス(株)より池邊様が、また、小湊鉄道(株)より横山様が、会議に出席したいとの申し出があり、会長に確認したところ了承が得られましたので、協議会設置規約第8条の規定により、オブザーバーという形で出席いただいております。

また、本日の議題に関連し、自治体間の情報共有を図るため、御宿町の公共交通を担当されております、企画財政課・課長の渡邊様、同じく課長補佐の柴原様にご出席いただいております。

次に、本日の出席者数について報告いたします。委員総数19名のうち、出席者数は1

2名です。欠席委員より委任状を提出いただいております、委員総数の過半数に達していることを報告いたします。

次に、本会議につきましては、原則公開としておりますが、現在のところ傍聴の申出がございませんことを報告いたします。

私の方からは以上でございます。

これより議事に入りますが、議事の進行につきましては、会長の竹下副市长にお願いしたいと思います。会長よろしく申し上げます。

(会長・竹下)

大変お忙しい中、本協議会にお集まりいただきましてありがとうございます。恐れ入りますが、着座にて議事の進行をさせていただきます。

本日の会議は次第書にありますとおり、議題として、『路線バス「勝浦・御宿線」及び「ミレーニア線」の再編について』『デマンドタクシーの運行拡充について』など、4つ議題をご審議いただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議事に入ります。議題1『路線バス「勝浦・御宿線」及び「ミレーニア線」の再編について』及び議題2『デマンドタクシーの運行拡充について』は関連がありますので一括して審議してまいりたいと思います。事務局より説明を求めます。

(事務局・渡邊)

企画課の渡邊と申します。よろしくお願い致します。

議題1の『路線バス「勝浦・御宿線」及び「ミレーニア線」の再編について』、議題2の『デマンドタクシーの運行拡充について』説明をさせていただきます。

これまでの会議において、本地域における公共交通の利便性向上を図るため、路線バスの再編とデマンドタクシーの運行拡大を合わせて協議してまいりましたが、交通事業者さんとの協議も行い、その案が固まりましたので、本日、説明をさせていただき、ご審議いただきたいと思います。

最初に、議題1として『路線バス「勝浦・御宿線」及び「ミレーニア線」の再編について』説明いたします。別冊の資料をご覧ください。

現在、勝浦駅と御宿駅とを結ぶ「勝浦・御宿線」が1日3便運行されておりますが、運行本数も少なく、また、自宅からバス停まで距離があるなどの理由で、利用者が少ない状況でございます。このことから「勝浦・御宿線」は廃止したうえで、現在、市役所が起終点となっている「ミレーニア線」を延伸し、沢倉区内の「豊浜小入口」を市役所側の起終点にすることについて、路線バスの運行事業者であります小湊鉄道さんと検討・協議を進めてきたところでございます。

資料を見ていただきますと、青い線が廃止を検討している「勝浦・御宿線」で、赤い実線が現在の「ミレーニア線」となっております。赤い点線が「ミレーニア線」の延伸部分で、市役所側の起終点を「豊浜小入口」となります。

こちらが路線バスの再編の内容で、今年の10月からの変更を予定しております。

続きまして、議題2『デマンドタクシーの運行拡充について』説明いたします。資料は2ページをご覧ください。

デマンドタクシーの運行拡充についても、これまでの会議の中で協議をしまいいりました。会議での協議、交通事業者との協議を踏まえた運行拡充案について説明させていただき、ご審議いただきたいと思います。

それでは、資料に沿いましてデマンドタクシーの運行に関する変更内容について説明いたします。

- ①川津・勝浦・浜勝浦の各区に共通乗降場所を追加設置。
- ②勝浦地区内における共通乗降場所間での乗降を可能とする乗降ルールの変更。
- ③新官・部原の各区を自由乗降区域として拡充。ただし、新官区は沿岸地域に限る。
- ④廃止を検討している路線バス「勝浦・御宿線」における御宿町内のバス停に共通乗降場所を設置。
- ⑤御宿町内から勝浦地区内への共通乗降場所間での乗降を可能とする乗降ルールの変更。

ただし、御宿町内の共通乗降場所間での乗降は不可。

前回の会議では御宿町内で乗って、御宿町内で降りるといった乗降は可能としておりましたが、御宿町より御宿町が運行しているデマンドタクシーの「エビアミー号」との役割を明確にするために、勝浦市の運行するデマンドタクシーでは、御宿町内の共通乗降場所間での乗降は不可としたいとの考えが示されましたので、そのようにしております。

なお、勝浦市が運行するデマンドタクシーが御宿町内に乗り入れることについては、勝浦市と御宿町は隣接しており、生活圏としては一体であるとの考えによるもので、今後、変更を予定している地域公共交通計画では、そのような位置付け・役割として記載することを考えております。

- ⑥運行台数を2台から3台に増加。

- ⑦オンライン予約、効率的なルート検索を可能とする運行管理システムを導入により、予約時間を現行の「迎車開始時刻の1時間前まで」から、「30分前まで」に変更。

なお、1便については前日までの予約をお願いすることといたします。こちらについても運行管理システムの活用により、当日の受付が可能ということであれば、運用の中で対応していただきたいと思いますと考えております。

改めて変更後の運行内容を説明いたしますと、運行区域は、自由乗降区域として現行の東急エリアを除く上野地区全域、大沢、浜行川、興津の一部、小松野、大楠の一部、松部・串浜の一部に、新官の一部、部原を加えます。また、御宿町のほか勝浦・浜勝浦・川津に共通乗降場所を追加します。

資料は次のページに移ります。運行日は現行と変わらず、祝日・年末年始を除く月曜日～土曜日。運行時間を迎車開始時刻で言いますと、1便が8時、2便が9時30分、3便が上り11時、下り11時45分、4便が13時30分、5便が15時、6便が16時30分となります。

運賃については、現在、大人400円、中高生200円、小学生100円、未就学児無料、運転免許返納者200円、障害者手帳所持者及び介護者が各200円としておりますが、これを一部改定する方向でご提案させていただきます。

改定部分をご説明いたしますと、大人400円を500円に、小学生100円を無料としたいと考えております。

改定の根拠でございますが、まず、大人運賃につきましては、路線バスやタクシーなど、

他の公共交通等との整合性を図ろうとするものでございます。具体的には小湊鉄道さんが示しております距離ごとのバス運賃の表によりますと、10キロメートルで500円程度であり、勝浦駅から上野小学校までの距離が約10キロメートルであること、また、今回、勝浦地区内の共通乗降場所間での乗降を可能とすることを考えておりますので、タクシー運賃との比較をいたしますと、初乗り1キロメートルまで500円、2キロメートルで900円、さらに迎車した場合には、別途400円の迎車料金がかかる状況であること、さらには、近年の人件費や燃料費の高騰により、1日1台あたりの運行に係る契約金額が上昇することが見込まれていること。これらを踏まえまして、大人運賃を400円から500に改定しようとするものでございます。

小学生運賃につきましては、勝浦市の総合計画におけるリーディングプロジェクトとして「子どもの未来を拓く」を掲げており、子育て世帯の経済的負担を軽減しようとするもの、また、小学生の頃から公共交通に親しむことを促し、将来の公共交通の維持確保につなげようとするもので、これらを踏まえまして、小学生運賃を100円から無料に改定しようとするものでございます。

なお、小学生以下の乗車には、保護者の同伴を必要としておりますので、保護者1人と小学生1人が乗車した場合の運賃の合計は、現行と変わらないものとなります。

運賃につきましては補足の説明がありまして、昨年の道路運送法の改正により本協議会で決定することができず、パブコメ等の手続きを経たうえで、運賃について協議する専門の協議会を開催し、協議が調った後に運行事業者が国土交通大臣に届け出ることで決定することとなっております。現時点で勝浦市においては運賃について協議する運賃協議会を設立しておりませんので、今後、市で規約等を整えるなどの準備を進めてまいりたいと考えております。この運賃協議会については、後ほど「その他」の中で改めて説明させていただきます。

説明を続けさせていただきます。予約時間につきましては、迎車開始時刻の30分前までとします。ただし、1便は前日までとしますが、運行管理システムの活用等により、1便についても当日の対応が可能ということであれば、運用の中で対応していくことといたします。

乗降ルールにつきましては、先ほどより説明しております内容をまとめますと資料の表のとおりとなります。

次ページ以降は共通乗降場所の追加や、自由乗降区域の拡充についての詳細説明となりますのでご確認ください。

最後のページに、新たな運行事業者の選定に係る今後のスケジュールについて記載しておりますが、本日の会議にて運行内容をご承認いただけましたら、その内容をもとに交通事業者の公募による選定を行いたいと思います。選定は企画提案の審査によるもので、いわゆるプロポーザル方式というものです。

4月上旬から企画提案を募集し、5月中旬に審査委員に対して企画提案のプレゼンテーションをしていただき、最上位の事業者さんとさらに業務内容等を詰めたうえで、5月下旬に契約を締結したいと考えております。

この運行事業者の選定は運行主体である勝浦市が実施いたしますが、本協議会の委員の

方にも審査委員をお願いすることを考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

以上で議題１『路線バス「勝浦・御宿線」及び「ミレーニア線」の再編について』及び議題２『デマンドタクシーの運行拡充について』説明を終わります。

【質疑等要旨】

（関東運輸局千葉運輸支局・高橋委員）

デマンドタクシーの運行拡充について、御宿町内の共通乗降場所との間で乗降できるのが、勝浦地区内の共通乗降場所に限定しているが、例えば御宿町の共通乗降場所から上総興津駅へ行くことはできないという理解でよろしいか。

また、そのような乗降ルールにした理由はいかに。

（事務局・渡邊）

御宿町の共通乗降場所との間での乗降ルールについては、高橋委員の認識のとおり。

理由については、御宿町の共通乗降場所から勝浦地区外の共通乗降場所との間を１回の乗車で可能とすると、走行距離が長くなり、効率的な運行に支障が出るものと考えている。

（関東運輸局千葉運輸支局・高橋委員）

誤解がないように御宿町の方などへの周知をお願いする。

（関東運輸局千葉運輸支局・高橋委員）

運行事業者の選定スケジュールについて、４月上旬に運行業務に係る企画提案を行うとなっているが、募集開始から締め切りまでどの程度期間はあるのか。

（事務局・渡邊）

現時点での予定だが、企画募集を開始してからプロポーザルへの参加意向の届出期間を２週間程度、企画提案の提出期間を１ヶ月程度としたいと考えている。

（エミタスタクシー南総㈱・古川委員）

タクシーは運賃のほか、予約料金、迎車料金もいただいている。また、燃油高騰等によりタクシー事業は苦戦しているが、通院などの高齢者の移動手段として対応している。そのような状況において、安価に利用できるデマンドタクシーの拡充は、影響が大きいものと懸念している。デマンドタクシーの運賃の引き上げは必要と考える。

（事務局・渡邊）

タクシーは初乗り運賃５００円、迎車料金が４００円、利用距離も考えればデマンドタクシーの運賃との差は大きいものと承知しているが、現在が４００円であること、また、上野地区からの距離をバス運賃に換算した場合５００円程度であることから、タクシーの初乗り運賃と同額の５００円に合わせる形でご提案させていただいた。ご理解いただきたい。

（エミタスタクシー南総㈱・古川委員）

これまでも勝浦市、御宿町の行政と協力させていただいており、今回も委員のみなさんの判断を尊重したいと考えている。

(小湊鉄道株加藤委員代理)

燃油や人件費の高騰などの影響からバス運賃についても、今後、引き上げを検討しており、そのような流れの中で、デマンドタクシーの運賃の引き上げも理解できる。

事務局の説明にもあったが、この協議会で運賃が決定する訳ではなく、引き続き協議するという事でよいのではないか。

(事務局・渡邊)

運賃は運賃協議会の協議によって実質的に決まることとなるが、運賃協議に先立ち実施するパブコメにおける運賃案を、本日の議題の承認をもって決定したいと考えている。

(会長・竹下)

議題1『路線バス「勝浦・御宿線」及び「ミレーニア線」の再編について』及び議題2『デマンドタクシーの運行拡充について』は、異議なしと認め、承認されたものとする。

(会長・竹下)

続きまして議題3『令和6年度協議会事業計画（案）及び予算（案）について』事務局より説明を求めます。

(事務局・渡邊)

最初に令和6年度の勝浦市地域公共交通活性化協議会の事業計画（案）についてご説明いたします。資料は次第と一体となったものの4ページをご覧ください。

協議会の事業内容といたしましては、地域公共交通計画に掲げた各取組の進捗状況を確認するとともに、年度ごとにその評価を行うこととしております。

また、デマンドタクシー運行のため国の補助金を活用しておりますが、この補助金の交付に関連し、令和7年度地域公共交通確保維持改善事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出を令和6年6月に、令和5年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価の提出を令和7年1月に予定しておりますので、それぞれ会議でご審議いただくこととなります。

会議の開催予定でございますが、令和6年度は5回の会議の開催を予定しております。これは令和6年度にデマンドタクシーの運行拡充や、総野地区において自家用有償旅客運送制度を活用した、地域住民同士の助け合いによる新たな公共交通の導入を予定していることから、皆様に進捗状況を報告したり、ご意見をうかがったり、協議のためお集まりいただきたいと考えております。会議の開催時期、また議題につきましては、あくまで予定でございまして、事業の進捗等により変更となる場合がございますので、ご理解願います。

次に、令和6年度勝浦市地域公共交通活性化協議会の予算（案）についてご説明いたします。次のページをご覧ください。

まず、歳入についてでございますが、負担金として341千円。会議の開催等に係る経費に対して勝浦市から本協議会に支払われる負担金でございます。

次に、補助金 4,031 千円についてでございますが、こちらは令和 6 年度のデマンドタクシーの運行に係る地域公共交通確保維持改善事業費補助金でございます。これまでは運行事業者が国に申請し交付を受けておりましたので、協議会の予算には計上されておりましたが、令和 6 年度分より制度改正により協議会が申請し、交付を受けることになりました。金額については令和 5 年度の交付額と同額を計上しております。

歳入合計で 4,372 千円となります。

次に、歳出についてでございますが、会議費として 328 千円。会議に出席いただきました委員の皆様へ支払われる報酬と旅費でございます。また、事務費として 13 千円。こちらは報酬と旅費の支払いに伴う銀行の振込手数料でございます。先ほど事業計画でも説明させていただきましたが、令和 6 年度は 5 回の会議開催を予定しております。

次に事業費 4,031 千円についてでございますが、歳入の補助金で説明させていただきましたデマンドタクシーの運行に係る地域公共交通確保維持改善事業費補助金について、令和 6 年度より協議会が交付を受けることとなりますが、デマンドタクシーの運行については、勝浦市が運行主体でありますので、協議会が受けた補助金をそのまま勝浦市に納めることとなります。

歳出合計で 4,372 千円となります。

令和 6 年度勝浦市地域公共交通活性化協議会事業計画（案）及び予算（案）について、説明は以上でございます。

【質疑等要旨】

※質疑等なし

（会長・竹下）

議題 3『令和 6 年度協議会事業計画（案）及び予算（案）について』は、異議なしと認め、承認されたものとする。

（会長・竹下）

続きまして議題 4『協議会委員の追加について』事務局より説明を求めます。

（事務局・渡邊）

議題 4『協議会委員の追加について』説明させていただきます。資料は次第と一体となったものの 6 ページをご覧ください。

令和 6 年度の事業計画でもご説明しましたとおり、令和 6 年度では勝浦市の総野地区において自家用有償旅客運送制度を活用した、地域住民同士の助け合いによる新たな公共交通の導入を計画しており、事業を進めるにあたっては地域住民や代表の方への丁寧な説明・協議が必要と考えております。このことから本協議会においても、総野地区の住民代表の方に委員になっていただき、協議会でご意見をいただくほか、勝浦市全体の公共交通の状況をご理解いただくことが必要と考えております。

つきましては、本協議会の委員として資料の 14 番目に勝浦市区長会連絡協議会 総野

地区会長を追加するとともに、これまで13番目の枠として勝浦市区長会連絡協議会としていたものを勝浦市区長会連絡協議会上野地区会長とし、既存のデマンドタクシーと、新たに導入しようとする自家用有償旅客運送の運行地域の住民代表としてご参加いただくこととしてよろしいかというご提案でございます。以上です。

【質疑等要旨】

※質疑等なし

(会長・竹下)

議題4『協議会委員の追加について』は、異議なしと認め、承認されたものとする。

(会長・竹下)

これにて「議題」については終了となります。

次に、その他として何かありますでしょうか。

(事務局・渡邊)

先ほどデマンドタクシーの運行拡充についての説明の中で触れました、運賃協議会について改めて説明させていただきます。資料は次第と一体となったものの7ページをご覧ください。

道路運送法第9条では、路線バスやデマンドタクシーなどの一般乗合旅客自動車運送事業の運賃について規定されておりますが、その第1項において一般的な取扱いとして、運行事業者は国土交通大臣の認可を受ける必要がある旨、規定されております。

例外的な取扱いとして第4項にいわゆる協議運賃制度について規定されており、路線バスやデマンドタクシーなどの一般乗合旅客自動車運送事業の運賃の決定手続きにおいて、運行を行う地域で協議が調っている場合は、その内容を国土交通大臣に届け出ることによって運賃を定めることができるというものでございます。まさに勝浦市のデマンドタクシーについては、本協議会で協議し、運行事業者が届け出ることによって運賃を決定してまいりましたが、道路運送法の改正により、昨年10月以降は、パブリックコメント手続きなどの住民等の意見を聞くプロセスを経たうえで、運賃について協議する専門の協議会で協議し、その内容を運行事業者が国土交通大臣に届け出ることによって運賃が決定されることとなりました。運賃について協議するこの協議会のことを、一般に運賃協議会と呼んでおりますが、独占禁止法のカルテルにあたるとの疑義が生じないよう、交通事業者については、実際に運行を担う交通事業者のみが協議に参加することと定められました。よって勝浦市のデマンドタクシーに関する運賃協議会は、運行事業者の選定後に開催することになります。

資料は次のページをご覧ください。今後、設立を予定している勝浦市地域公共交通運賃協議会の規約の案を添付させていただきました。

第6条で会長は勝浦市地域公共交通活性化協議会の会長が兼ねることを規定するとともに、その他の委員としては、実際に運行を担う交通事業者のほか、市町村、地方運輸局、

住民代表となります。

基本的には本日開催しております地域公共交通活性化協議会の委員の方に兼務していただくことになるものと考えておりますので、この協議会の開催日に合わせて運賃協議会を開催するなどの対応が現実的ではないかと考えております。ただし、デマンドタクシーの運賃協議に関しましては、御宿町にも乗り入れることとなりますので、御宿町の住民代表の方にも参加していただくことについて、引き続き御宿町と協議をしてまいりたいと考えております。

今後、市のほうで運賃協議会の設立に関する規約等を制定したうえで、必要に応じて委員を選任し、会議を開催したいと思っておりますので、委員となられる方につきましては、ご協力をお願いいたします。以上です。